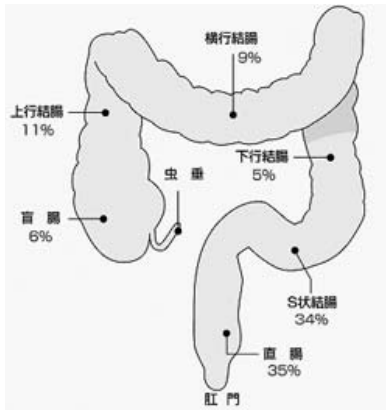


増えています！大腸がん！～がん検診を受けましょう～

▼
国立がんセンターHP参考
大腸がんの部位別発生率
がん対策情報



●大腸がんとは、どんな病気？

大腸がんは、発生した細胞の位置により、結腸がんと直腸がんに分類されます。この2つは、性質も症状も治療法も異なります。直腸や左側結腸では、排便に関係する症状が多く、中でも血便が多く見られます。よく痔と勘違いして、放置する人がいるので注意してください。右側結腸は、排便に関する症状が減り、症状じたいが出にくくなります。

大腸がんは、がんのなかでも原因の解明が最も進み予防しやすくなっています。しかし、患者数は増加傾向にあり、2015年には、すべてのがんのなかでもっとも多くなると推定されています。平成18年度の三春町のがんの部位別死亡者数、死亡率をみると、県の値よりかなり高くなっていることがわかります。

●がんについての町の統計(平成18年度)

★総死亡に対する 主要死因順位	人数	死亡者数に占める割合(%)	
		町	県
1 悪性新生物	72	36.9	28.7
2 脳血管疾患	33	16.9	13.2
3 心疾患	30	15.4	17.4

※三春町の18年度死亡者数195名

★三春町に多い がんの部位	人数	死亡率	
		町	県
1 大腸*	13	47.4*	25.3*
2 胃	12	63.1	45.7
3 肺・気管支	8	42.1	53.8

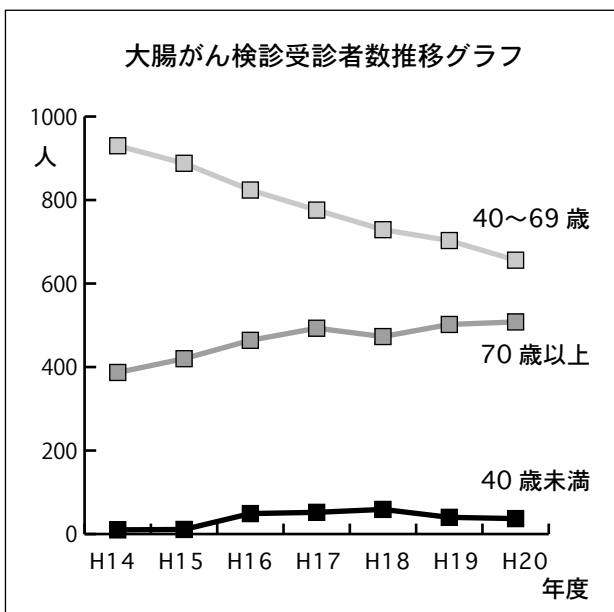
大腸* 結腸、直腸 S状結腸移行部および直腸の悪性新生物の人数
大腸の死亡率 結腸の悪性新生物の死亡率

○三春町の大腸がん検診結果

▽対象者 3,924人	▽精密検査対象者 100人
▽受診者 1,201人	▽精密検査受診者 69人
▽受診率 30.6%	▽精密検査受診率 69%

●大腸がん検診結果(受診者数)

- 大腸がん検診の受診者数は年々減少しています。
- 特に40歳から69歳までの受診者数が減少しています。



●大腸がん検診精密検査の結果(受診者数)

- 19年度の検診によるがん発見者数は2人
- 20年度の精密検査を受けた方で目立つ疾患は、腺腫性ポリープ、痔などです。
- 他のがん検診と比較すると、精密検査が必要といわれても検査をしない人が多い傾向があります。

